

2022/06/27 (月)

朝の礼拝

聖書 コリントの信徒への手紙 I 13章4-7節 (新約聖書317頁)

愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。

### 罪の赦し

「愛は忍耐強い」、そして「すべてを忍び、・・・、すべてに耐える」とありました。愛は忍耐であると表現を変えて三回繰り返されています。どうして愛は忍耐なのでしょう。原語のギリシア語も英語訳もすべて違う単語が使われています。

わかりやすく英語で「忍耐強い」は **patient**、次の「忍び」は **bear**、「(人の) 重荷を負う」「(報復しないで) 黙って隠す、覆う」、そして最後の「耐える」は **endure**、「(困難を) 共に持ちこたえる」という意味です。

「忍び」には「(人の) 罪を赦す」、「耐える」には「(罪の) 苦しみを共に負う」となります。これはキリスト、救い主が示されたことです。だからパウロ自身も「キリストがわたしの内に生きておられる」(ガラテヤ2:20) と言っています。

イエスはよく罪人と共に食事をして、神様の愛をあらわしました。パウロもユダヤ人以外の罪人とされた異邦人と共に食事をして神様の愛を伝えました。イエスが救い主として十字架で示された神様の愛は、罪の赦しの愛です。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたは罪人と共に過ごし、神様の愛をあらわしてくださいました。どうかわたしたちも互いに過っているところを赦しあい、足りないところを補いあい、励ましあって歩ませてください。明日から期末テスト、実力テスト、中学生は明後日から実力テストです。どうか生徒、教職員の健康を守り、ベストを尽くし、その結果と向き合い、よりよき学びへとつなげてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン